

# 土木建設業履歴・品質管理

---

## トレーサビリティシステム提案書

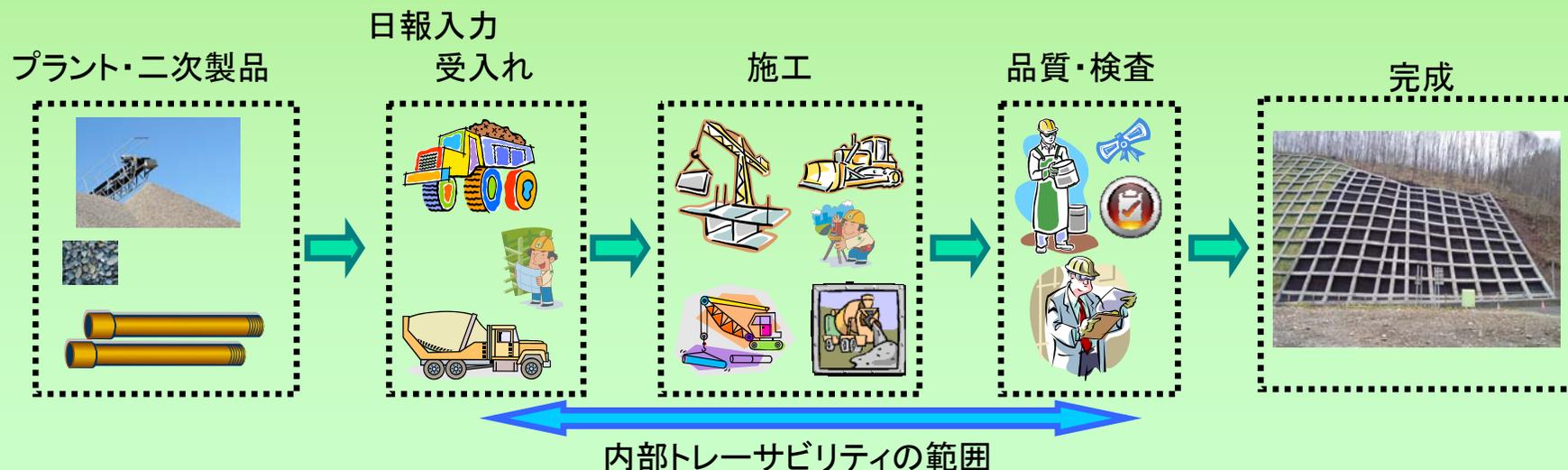
2009年12月12日

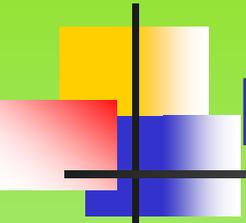
株式会社 ダブルクリック

# トレーサビリティの提案

本提案書では、土木建設業界において、原料仕入れから施工手順・工程管理・原材料の履歴管理・納入履歴・その後の施工履歴から完成までの過程を、「施工履歴トレーサビリティ」(internal traceability) に関して提案します。(以下、提案するトレーサビリティシステムを、「BIBLOSTレーサビリティ」とします。)

これにより、原材料・二次製品から施工履歴・品質管理・完成までの情報を遡って提供を行えるようになります。





# トレーサビリティの適用範囲

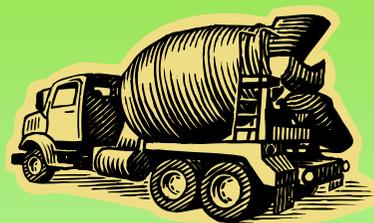
システムでの取扱い品目は、

1. 一般土木工事
2. 農政土木工事
3. 森林土木工事
4. 漁港港湾工事
5. 舗装工事
6. 建築・設備工事

を対象とします。

その他の工事に関しては、必要に応じて対象工種の範囲を広げていくこととします。

(工種の中には、入力方法の変更等で対応可能な工種・細目もあると思われます。)



# 識別番号(ロット番号)の付与



製造情報を追跡するために材料、二次製品の各段階で識別が行えるようにロット番号を付与して日報入力による追跡管理を行います。

ロット番号は、

1. 原料ロット番号 : 材料を受入れた段階で付与
2. 半製品(中間)ロット番号 : 施工段階の中間で付与
3. 二次製品ロット番号 : 製品を施工・設置した段階で付与
4. 複合施工のロット番号

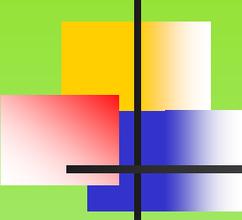
の各段階で重複しない番号を付与する。



## ロット番号形式(案)

ロット番号は、商品情報、日付(工場製造・生産日時・受入日時等)、施工情報を連番、種別で構成するものとし、以下の形式を用います。

項目コードー日付(西暦年下2桁+月)ー連番ー工種  
6桁                      4桁                      3桁    3桁    計 16桁



## 識別番号(ロット番号)の詳細

---

### 1. 商品コード(6桁)

ロット番号の先頭には、実行・原価管理で使用しているマスター・日報管理で使用している商品コード

をそのまま使用しロット番号から商品进行特定できるようにします。

### 2. 日付 「2009年12月 → 0912 」

製造・日付を西暦下2桁+月2桁の計4桁で表します。

### 3. 連番

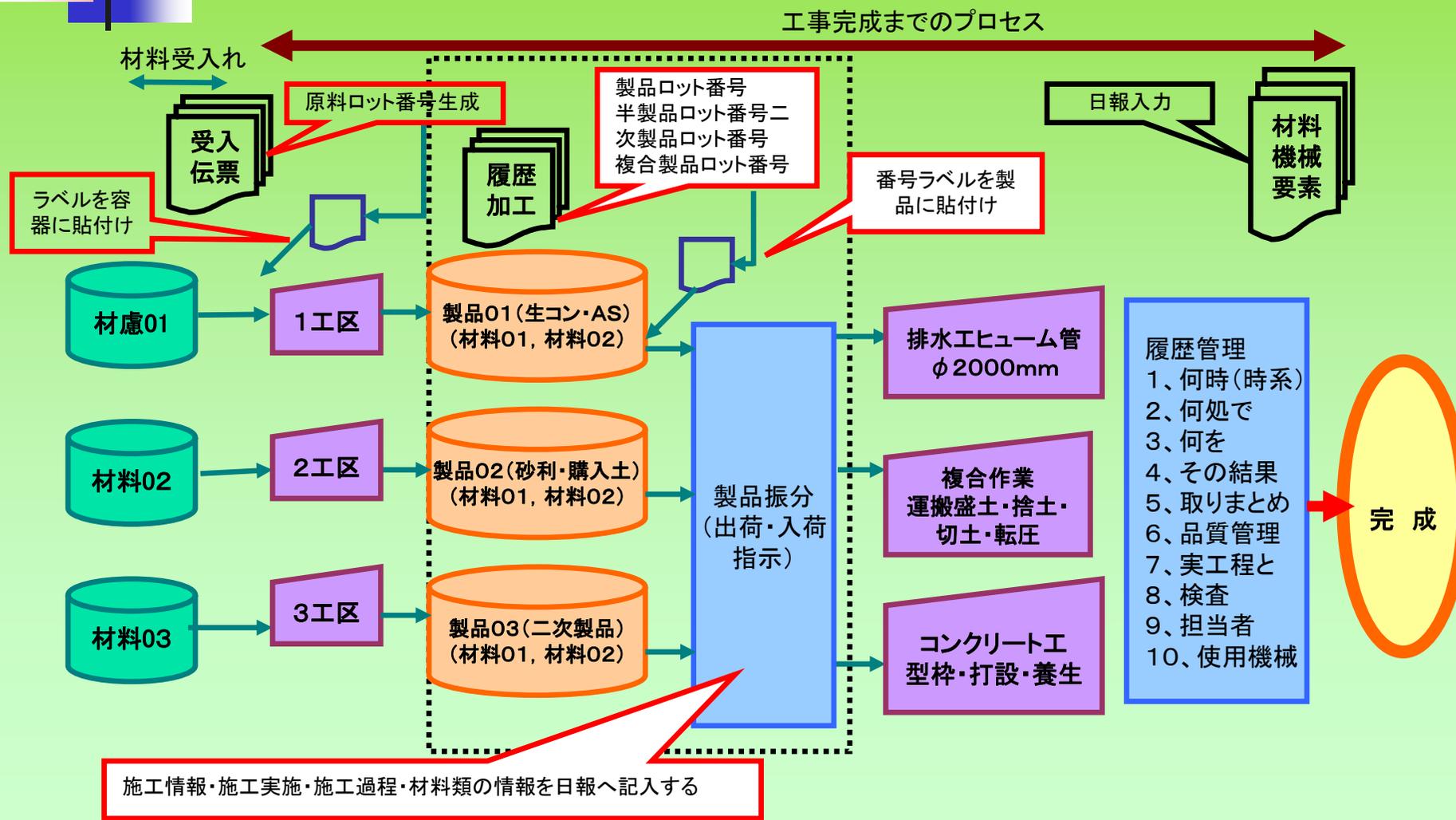
連番は、材料及び日付ごとの連番とします。(日付は、月までの情報のため、連番は、月単位でのものとなります。

### 4. 種別

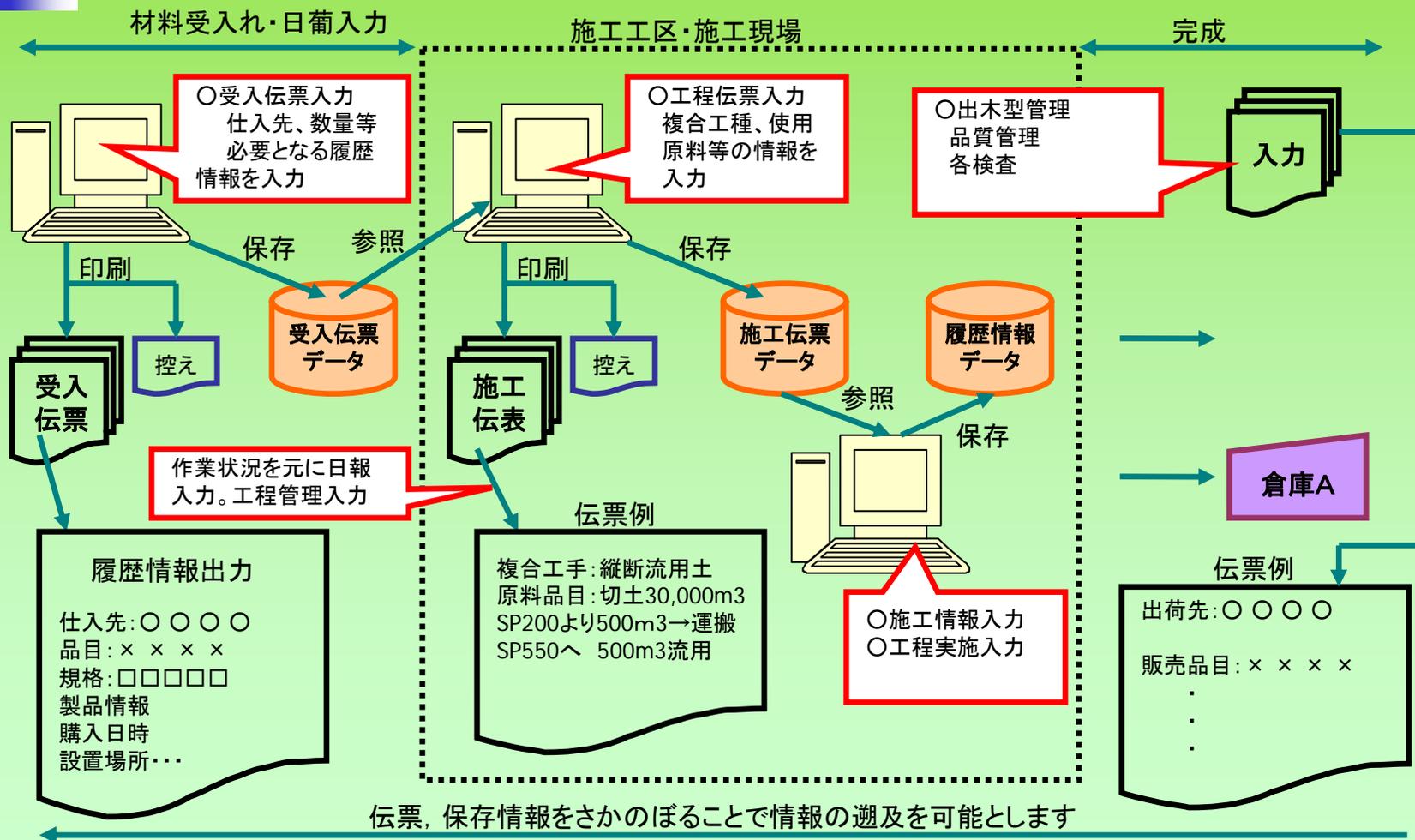
ロット番号の種別を表し、

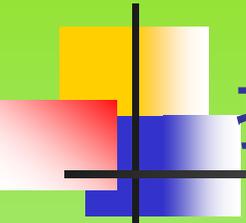
A:原料, B:半製品, C:二次製品 D:複合 E:その他とします。

# システムの概略の流れ



# 入力データの概略の流れ





## 提案するシステムの概要

---

現在使用している実行予算・原価管理・日報入力との連携の有無により、以下の3パターンの提案システムの形態が考えられます。

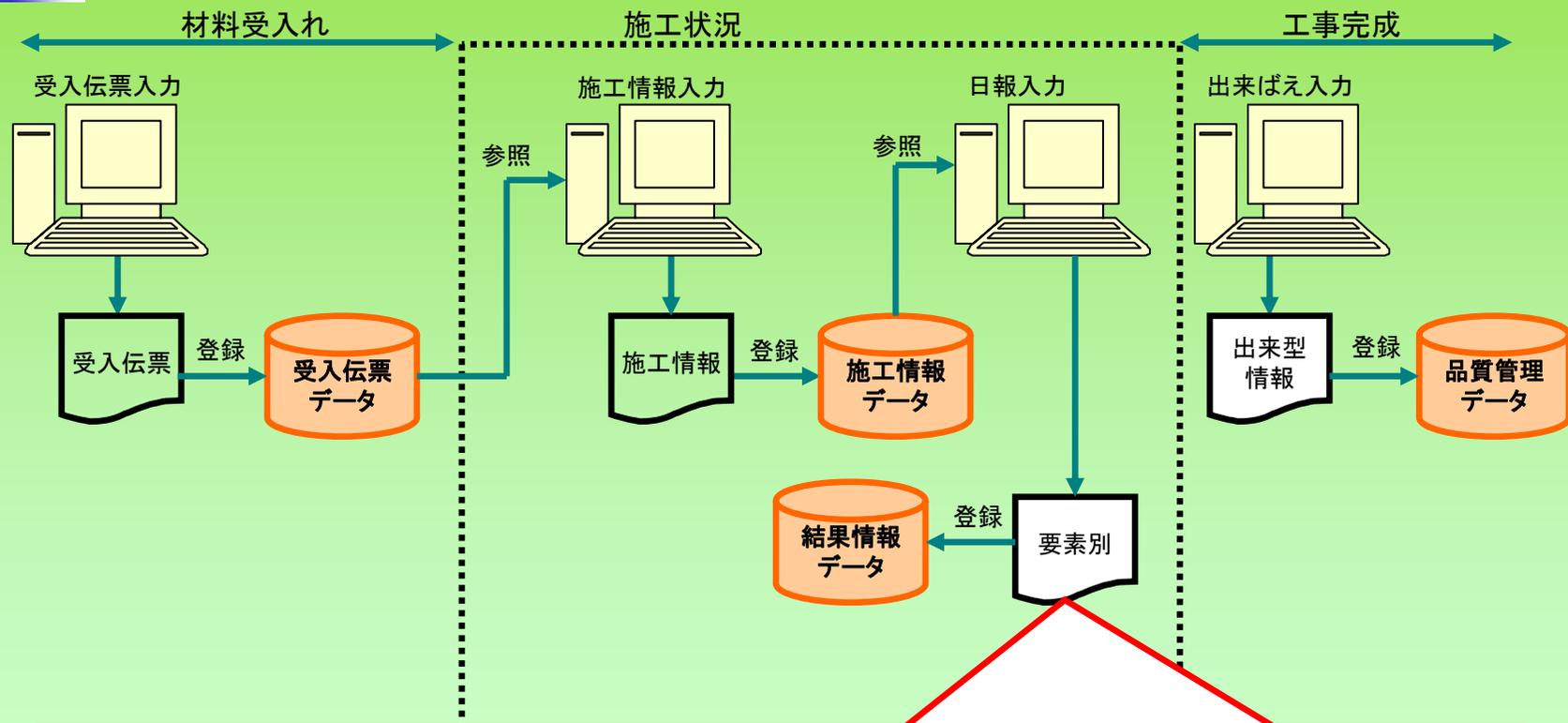
1. 既存システムとは連携せず単独の場合(トレーサビリティのみ)
2. 日報入力と連動させる場合(トレーサビリティ+日報入力)
3. 原価・工程管理と連動させるばあい。

(トレーサビリティ+原価管理+工程管理)

上記、3パターン全てにおいて使用するサーバ機、データベースに関しては現在稼働中の既存機器を使用します。

(データベースに関しては、テーブル、データ定義等は、追加・修正することとなります。)

# システム概要 その1 (トレーサビリティのみ)



- 1、材料品質情報
- 2、材料規格確認情報
- 3、施工方法情報
- 4、施工工程情報
- 5、品質管理情報
- 6、気象情報
- 7、発注者指示情報
- 8、立会、段階確認、社内検査情報
- 9、安全対策情報
- 10、ヒヤリ情報
- 11、問題点克服情報
- 12、現況情報(地盤の地質・地形)
- 13、気候測量情報
- 14、作業車コメント
- 15、現場代理人コメント
- 16、次回施工へ(別工区・次年度施工)のアドバイス
- 17その他

# トレーサビリティ情報の提供

システムで蓄積されたトレーサビリティ情報を提供・公開するためにシステム内に製品ロット番号からトレーサビリティ情報を検索できる機能を設けます。

検索した結果をExcel出力・印刷してトレーサビリティ情報を提供できるようになります。

将来的には、検索結果をメールで提供する場合は、webサーバを用意してインターネット上で公開することも考えられます。

